

O01 口頭発表

第1日 (10月28日) 9:00 ~ 10:30

K棟 3F K314

集団1

座長 竹澤 正哲

- | | | | |
|------|---|---|---|
| O011 | 9:00 ~ 9:15
死の脅威に直面すると、集団規範継承動機は高まるか？ (1)
集団アイデンティティによる検討 | ○尾関 美喜 | 東京国際大学 |
| O012 | 9:15 ~ 9:30
記述的規範から命令的規範がいかんとして形成されるのか
規範形成における世代交代と教育の効果 | ○清水 裕士
中川 夏希 | 関西学院大学
関西学院大学 |
| O013 | 9:30 ~ 9:45
野球ファンの内集団ひいき
社会的アイデンティティ理論と閉ざされた一般互酬仮説の妥当性の検討 | ○中川 裕美
横田 晋大
中西 大輔 | 広島修道大学
広島修道大学
広島修道大学 |
| O014 | 9:45 ~ 10:00
Generalized trust and generalized social selection processes in social networks | ○Tasuku Igarashi
Taro Hirashima | Nagoya University
Aichi Shukutoku University |
| O015 | 10:00 ~ 10:15
町の開放性を支える結束型ソーシャル・キャピタル | ○内田 由紀子
一言 英文
箕浦 有希久
竹村 幸祐
福島 慎太郎 | 京都大学
福岡大学
関西学院大学
滋賀大学
青山学院大学 |
| O016 | 10:15 ~ 10:30
協力行動の計算論モデル構築を目指して
気まぐれな条件付き協力と強化学習 | ○竹澤 正哲
堀田 結孝
江崎 貴裕
犬飼 佳吾
喜多 敏正
増田 直紀 | 北海道大学
帝京大学
科学技術振興機構
大阪大学
北海道大学
ブリストル大学 |

政治行動・マスコミュニケーション

座長 稲増 一憲

- | | | | |
|------|--|--|--|
| O021 | 9:00~9:15
政治的会話の構造と測定 | ○横山 智哉 | 立教大学 |
| O022 | 9:15~9:30
期日前投票の促進要因
福島県民に対する政治意識調査より | ○岡田 陽介 | 拓殖大学 |
| O023 | 9:30~9:45
東アジアではなぜデモ参加者が嫌われるのか?
日米中港での比較実験から | ○小林 哲郎
三浦 麻子
曹 博林
Dani Madrid-Morales | 香港城市大学
関西学院大学
深圳大学
City University of Hong Kong |
| O024 | 9:45~10:00
指定廃棄物長期管理施設立地問題を巡る多段階決定
と手続き的公正 | ○横山 実紀
大沼 進 | 北海道大学
北海道大学 |
| O025 | 10:00~10:15
テレビ批判態度と第三者効果傾向の検討 | ○齋藤 誠子 | 慶應義塾大学 |
| O026 | 10:15~10:30
マスメディアというアクターに対する信頼感の研究 | ○稲増 一憲
三浦 麻子 | 関西学院大学
関西学院大学 |

リスク認知

座長 元吉 忠寛

- | | | |
|------|---|---|
| O031 | 9:00 ~ 9:15
Mediator of power's effects on risk decision making :
Reward perception or optimism about risk? | ○ Yan-mei Li Chinese Academy of Sciences
Xiao-shu Li Chinese Academy of Sciences
Zhu-yuan Liang Chinese Academy of Sciences |
| O032 | 9:15 ~ 9:30
NIMBY 施設に補償金のフレームが与える影響
高レベル放射性廃棄物処分場立地を題材 | ○ 飯野 麻里 北海道大学
大沼 進 北海道大学
広瀬 幸雄 関西大学
大澤 英昭 日本原子力研究開発機構
大友 章司 甲南女子大学 |
| O033 | 9:30 ~ 9:45
指定廃棄物の長期管理施設に対する立地受容判断の
当事者性の違い | ○ 大友 章司 甲南女子大学
広瀬 幸雄 関西大学
大沼 進 北海道大学 |
| O034 | 9:45 ~ 10:00
福島第一原発事故による食品の放射線リスクへの態度
7波パネル調査データによる地域差と時間的推移の検
討 | ○ 楠見 孝 京都大学
三浦 麻子 関西学院大学
小倉 加奈代 岩手県立大学 |
| O035 | 10:00 ~ 10:15
人はなぜ買い控えをするのか (2)
福島第一原子力発電所事故による買い控え行動に関
する調査 | ○ 中西 大輔 広島修道大学
井川 純一 大分大学
横田 晋大 広島修道大学 |
| O036 | 10:15 ~ 10:30
避難情報の提示におけるリスク認知と自己スキーマの影
響
— 避難行動要支援者との同居家族を対象として — | ○ 元吉 忠寛 関西大学 |

社会的認知 1

座長 外山 みどり

- | | | | |
|------|---|-----------------------------------|--|
| O041 | 9:00 ~ 9:15
因果的説明が過去の成功・失敗に対する感情・評価に及ぼす影響 | ○外山 みどり
藏本 知子 | 学習院大学
聖徳大学 |
| O042 | 9:15 ~ 9:30
感動する人は良い人か？
—「感動した」という行動の記述が印象形成に及ぼす影響— | ○加藤 樹里 | 金沢工業大学 |
| O043 | 9:30 ~ 9:45
マウストラッカーによる評価的プライミングのメカニズム分析 | ○川上 直秋
Jonathan B. Freeman | 島根大学
ニューヨーク大学 |
| O044 | 9:45 ~ 10:00
集団への所属は福島産食品に対する懸念のバッファーとなるか？ | ○埴田 健司
樋口 収
小森 めぐみ
武田 美亜 | 東京未来大学
明治大学
四天王寺大学
青山学院女子短期大学 |
| O045 | 10:00 ~ 10:15
人物の道徳情報と魅力度が視覚的気づきに及ぼす影響 | ○白井 理沙子
小川 洋和 | 関西学院大学
関西学院大学 |
| O046 | 10:15 ~ 10:30
閾化単純接触効果に対する顕在自尊心・潜在自尊心の影響 | ○三木 あかね
川上 直秋
中島 健一郎 | 広島大学
島根大学
広島大学 |

O05 口頭発表

第1日 (10月28日)

10:40 ~ 12:10

K棟3F K314

集団 2

座長 縄田 健悟

- | | | | |
|------|---|--|--|
| O051 | 10:40 ~ 10:55
ローカルな相互作用による限界質量モデルの妥当性検討
セル・オートマトン法によるシミュレーションの出力と質問紙による実測値の関連 | ○出口 拓彦 | 奈良教育大学 |
| O052 | 10:55 ~ 11:10
集団状況におけるリスク選択の変容 | ○阿形 亜子
笠置 遊
安藤 香織 | 奈良女子大学
立正大学
奈良女子大学 |
| O053 | 11:10 ~ 11:25
自己を過大評価するバイアスはときに集団の決定を向上させる | ○中分 遥 | University of Oxford |
| O054 | 11:25 ~ 11:40
日本人を対象とした服従実験
Milgram (1974) や Burger (2009) の実験との比較 | ○釘原 直樹
寺口 司
阿形 亜子
内田 遼介
井村 修 | 大阪大学
大阪大学
奈良女子大学
大阪大学
大阪大学 |
| O055 | 11:40 ~ 11:55
集団内葛藤が集団創発性へ与える影響
共有リーダーシップによる媒介効果の検討 | ○井奥 智大
釘原 直樹 | 大阪大学
大阪大学 |
| O056 | 11:55 ~ 12:10
チームの“阿吽の呼吸”を支える対人交流記憶システム
企業チームにおける日常的コミュニケーション, ノーフー共有, 暗黙の協調 | ○縄田 健悟
山口 裕幸
青島 未佳 | 福岡大学
九州大学
産学連携機構九州 |

社会・環境問題

座長 上瀬 由美子

- | | | |
|------|---|--|
| O061 | 10:40 ~ 10:55
破壊的カルトにおけるビリーフ・システムの形成・変容／維持・強化 (2)
マインド・コントロール技術の団体間比較とビリーフ・システムへの影響 | ○木村 真利子 立正大学
西田 公昭 立正大学 |
| O062 | 10:55 ~ 11:10
破壊的カルト脱会者の心理的回復過程 (2)
—心理的回復過程モデルの妥当性の検討— | ○渡邊 和弥 立正大学
西田 公昭 立正大学 |
| O063 | 11:10 ~ 11:25
Influences of Demographic Factors on Pro-environmental Behaviours in Japan | ○Yanyan Chen Doshisha University
Yuejun Zheng Doshisha University |
| O064 | 11:25 ~ 11:40
メッセージが省エネ製品購入意図に及ぼす効果の実験的検討
相互協調的自己観との関連 | ○安藤 香織 奈良女子大学
杉浦 淳吉 慶應義塾大学
大沼 進 北海道大学
安達 菜穂子 大阪市立大学 |
| O065 | 11:40 ~ 11:55
フランスの高レベル放射性廃棄物処分場開発に対する賛否態度の規定因と可逆性の効果 | ○青木 俊明 東北大学
吉澤 拓也 日本工営(株) |
| O066 | 11:55 ~ 12:10
非誘致型の官民協働刑務所開設に伴う近隣住民の態度変容
—播磨社会復帰促進センター近隣住民に対する意識調査— | ○上瀬 由美子 立正大学 |

O07 口頭発表

第1日 (10月28日) 10:40 ~ 11:55

K棟 3F K312

安全・防災

座長 杉浦 淳吉

O071	10:40 ~ 10:55 リスクコミュニケーションのアクティブ手法の開発と効果・普及	○杉浦 淳吉 竹村 和久 高木 彩 織 朱實 梶山 浩 吉川 肇子	慶應義塾大学 早稲田大学 千葉工業大学 上智大学 国立医薬品食品衛生研究所 慶應義塾大学
O072	10:55 ~ 11:10 セカンドプライスオークション法を用いたリスクコミュニケーションの効果測定	○竹村 和久 杉浦 淳吉 高木 彩 織 朱實 梶山 浩 吉川 肇子	早稲田大学 慶應義塾大学 千葉工業大学 上智大学 国立医薬品食品衛生研究所 慶應義塾大学
O073	11:10 ~ 11:25 NIMBY問題における正当性と受容意図 “誰がなぜゲーム”による承認-受容モデルの検討	○野波 寛 大友 章司 坂本 剛 田代 豊	関西学院大学 甲南女子大学 名古屋産業大学 名桜大学
O074	11:25 ~ 11:40 福島第一原発事故後の除染事業における手続き的公正感と信頼	○山口 文恵 坂田 桐子	広島大学 広島大学
O075	11:40 ~ 11:55 東日本大震災を経験した行政職員の職場意識が住民に対する態度に与える影響	○高橋 尚也 古屋 健 坂田 成輝	立正大学 立正大学 東海大学

社会的認知 2

座長 三浦 麻子

O081	10:40 ~ 10:55 信頼と裏切り回避 自他間の資源分配に関する選好と信頼行動の関係	○黒田 起吏 亀田 達也	東京大学 東京大学
O082	10:55 ~ 11:10 How am I popular really? Egocentric orientation in social network memory task	○加藤 仁 五十嵐 祐	名古屋大学 名古屋大学
O083	11:10 ~ 11:25 解釈レベルと目標志向が態度変化に及ぼす影響 —レベル調整の有効性に着目して—	○寺田 未来	大手前大学
O084	11:25 ~ 11:40 「裸の王様」型の社会規範が分配的正義の合意形成に及ぼす影響	○上島 淳史 亀田 達也	東京大学 東京大学
O085	11:40 ~ 11:55 ネット利用でレイシズムが強まりやすいのは誰か? “2ちゃんねる” および “まとめサイト” の効果の検討	○高 史明	神奈川大学
O086	11:55 ~ 12:10 オンライン調査における努力の最小限化がデータに及ぼす影響 顕在的/潜在的態度測定による検討	○三浦 麻子 小林 哲郎	関西学院大学 香港城市大学

社会的ジレンマ

座長 竹村 幸祐

- | | | | |
|------|---|----------------------------|-------------------------|
| O091 | 9:00 ~ 9:15
社会的ジレンマと囚人のジレンマ指標の相関
—愛着における見捨てられ不安と親密性回避要因の影響— | ○安念 保昌
高橋 徹 | 愛知みずほ大学
愛知みずほ大学 |
| O092 | 9:15 ~ 9:30
罰が進化するための最小要因：行動エラーの影響 | ○土田 修平
竹澤 正哲 | 北海道大学
北海道大学 |
| O093 | 9:30 ~ 9:45
情報の非対称が存在する二者間における監視の効果 | ○小杉 素子
渡部 幹 | 静岡大学
モナッシュ大学マレーシア校 |
| O094 | 9:45 ~ 10:00
一部のメンバーによる話し合いが話し合い不参加者に与える影響
公共財ゲームを用いた検討 | ○北梶 陽子
肥前 洋一
大沼 進 | 広島大学
高知工科大学
北海道大学 |
| O095 | 10:00 ~ 10:15
規範が協力行動を支えなくなる条件：個人の住居流動性 vs. コミュニティの住居流動性 | ○竹村 幸祐
福島 慎太郎
内田 由紀子 | 滋賀大学
青山学院大学
京都大学 |

O10 口頭発表

第2日 (10月29日) 9:00 ~ 10:15

K棟3F K313

態度・信念・価値

座長 村山 綾

- | | | | |
|------|--|---|---|
| O101 | 9:00 ~ 9:15
日本語版 Moral Foundation Questionnaire の妥当性
2因子モデルにもとづく政治的態度との関連の検証 | ○村山 綾
三浦 麻子 | 近畿大学
関西学院大学 |
| O102 | 9:15 ~ 9:30
Moral Foundations Dictionary 日本語版を用いた道德違
反単語数の比較 | ○松尾 朗子
笹原 和俊
田口 靖啓
唐沢 穰 | 名古屋大学
名古屋大学・JSTさきがけ
愛知大学
名古屋大学 |
| O103 | 9:30 ~ 9:45
暗黙理論による課題選択方略の検討
—課題難易度に対する柔軟性に着目して— | ○鈴木 啓太
村本 由紀子 | 東京大学
東京大学 |
| O104 | 9:45 ~ 10:00
詐欺の手口はどのようにして思い出されるのか?
—情報処理ルートが予告の想起に与える影響— | ○大工 泰裕
釘原 直樹 | 大阪大学
大阪大学 |
| O105 | 10:00 ~ 10:15
「公共心」および「つながり」と海洋生態系サービス保
全に対する支払意志額との関係 | ○脇田 和美
黒倉 壽
大石 太郎
申 中華
古谷 研 | 東海大学
東京大学
福岡工業大学
(株)麗徳文成国際ビジネスサポート
東京大学 |

O11 口頭発表

第2日 (10月29日) 9:00 ~ 10:15

K棟3F K312

援助

座長 大沼 進

- | | | | |
|------|---|---|---|
| O111 | 9:00 ~ 9:15
ダークトライアドは非社会的な特性か？
—流動性がダークトライアド特性と援助行動の關係に及ぼす効果— | ○日道 俊之
野村 理朗 | 高知工科大学
京都大学 |
| O112 | 9:15 ~ 9:30
向社会的行動における右側背外側前頭前野の役割 | ○高岸 治人
坂上 雅道
山岸 俊男 | 玉川大学
玉川大学
一橋大学 |
| O113 | 9:30 ~ 9:45
Mortality salience and altruistic egoism in groups
Focusing on social identity and group permeability | ○古橋 健悟
五十嵐 祐 | 名古屋大学
名古屋大学 |
| O114 | 9:45 ~ 10:00
震災に対する援助行動とその要因について
-熊本地震、東日本大震災に着目して- | ○木村 拓真
片桐 恵子 | 神戸大学
神戸大学 |
| O115 | 10:00 ~ 10:15
募金行動に記述的規範が与える影響：函館山山頂での社会実験 | ○大沼 進
小林 翼
安保 芳久
中俣 友子
飯野 麻里
横山 実紀 | 北海道大学
(株)住環境計画研究所
北海道環境財団
東北文教大学
北海道大学
北海道大学 |

O12 口頭発表

第2日 (10月29日) 9:00 ~ 10:15

K棟3F K305

感情・動機 1

座長 小宮 あすか

- | | |
|---|---|
| <p>O121 9:00 ~ 9:15
不公平分配の拒否とセロトニントランスポーター遺伝子多型の関連</p> | <p>○仁科 国之 玉川大学・日本学術振興会
高岸 治人 玉川大学
竹村 有由 京都大学
井上-村山 美穂 京都大学
高橋 英彦 京都大学
山岸 俊男 一橋大学</p> |
| <p>O122 9:15 ~ 9:30
心のゆとりはネガティブ感情状態からの回復を促進するか? :
心のゆとりの感じやすさと感情制御の関連</p> | <p>○小林 亮太 広島大学
宮谷 真人 広島大学
中尾 敬 広島大学</p> |
| <p>O123 9:30 ~ 9:45
個人と集団全体の死の顕現化が内集団批判者の評価に与える影響
集団的死の顕現化操作により検討</p> | <p>○法 弁 大阪大学
釘原 直樹 大阪大学
綿村 英一郎 大阪大学
寺口 司 大阪大学</p> |
| <p>O124 9:45 ~ 10:00
実際の結果・あり得た結果の評価に関わる神経活動・生理反応</p> | <p>○後藤 崇志 滋賀県立大学
日道 俊之 高知工科大学
小宮 あすか 広島大学
榊 美知子 University of Reading
村山 航 University of Reading</p> |
| <p>O125 10:00 ~ 10:15
対人的後悔は学習を促進するか: カードゲーム課題を用いた検討 (2)</p> | <p>○小宮 あすか 広島大学
Jasmine April Louise Raw レディング大学
村山 航 レディング大学
榊 美知子 レディング大学
後藤 崇志 滋賀県立大学
日道 俊之 高知工科大学</p> |

O13 口頭発表

第2日 (10月29日) 10:25 ~ 11:40

K棟3F K314

産業・組織

座長 井川 純一

- | | | | |
|------|--|---------------------------|------------------------|
| O131 | 10:25 ~ 10:40
積明が組織の印象改善に及ぼす効果
社会的脅威と謝罪の効果の関係 | ○膳場 百合子 | 早稲田大学 |
| O132 | 10:40 ~ 10:55
職場満足感と相互協調的自己観の自発的協力行動への影響 | ○勝村 史昭
阿久津 聡 | 一橋大学
一橋大学 |
| O133 | 10:55 ~ 11:10
情緒的コミットメントはプロアクティブ行動を促すか：
人材流動性の調整効果 | ○正木 郁太郎
森 行範
村本 由紀子 | 東京大学
東京大学
東京大学 |
| O134 | 11:10 ~ 11:25
女性の昇進意欲に対する企業の具体的施策の有効性 | ○西舘 奏江 | 三菱スペース・ソフトウェア(株) |
| O135 | 11:25 ~ 11:40
バーンアウト傾向にGrit特性が与える影響
主観的報酬との関連に着目した職種比較 | ○井川 純一
中西 大輔
王 瑋 | 大分大学
広島修道大学
広島大学 |

O14 口頭発表

第2日 (10月29日)

10:25 ~ 11:40

K棟3F K313

身近な人間関係

座長 相馬 敏彦

- | | | | |
|------|---|--|--|
| O141 | 10:25 ~ 10:40
夫婦関係と適応(2)
—共有された関係効力性が主観的・心理的幸福感に与える影響— | ○浅野 良輔
古村 健太郎
金政 祐司 | 久留米大学
弘前大学
追手門学院大学 |
| O142 | 10:40 ~ 10:55
夫婦関係と適応(3)
—接近・回避コミットメントと心理的暴力の被害経験— | ○古村 健太郎
金政 祐司
浅野 良輔 | 弘前大学
追手門学院大学
久留米大学 |
| O143 | 10:55 ~ 11:10
激しい競争が男性の献身を生み出す
—恋人保持行動に対する関係流動性と女性の配偶価値の交互作用効果— | ○山田 順子
結城 雅樹 | 北海道大学
北海道大学 |
| O144 | 11:10 ~ 11:25
ストーカーについての実態調査(4)
—親密な関係破綻後のストーカー的行為の加害リスク要因に関する探索的研究— | ○金政 祐司
山本 功
荒井 崇史
石田 仁
島田 貴仁 | 追手門学院大学
淑徳大学
追手門学院大学
(公財)日工組社会安全研究財団
科学警察研究所 |
| O145 | 11:25 ~ 11:40
相手からのネガティブな行為がポジティブにみえるとき
—親密な関係におけるコミットメント・デバイスとしての行為解釈— | ○相馬 敏彦
伊藤 言 | 広島大学
東京大学 |

O15 口頭発表

第2日 (10月29日) 10:25 ~ 11:40

K棟3F K312

文化1

座長 堀田 結孝

- | | | | |
|------|---|--|---|
| O151 | 10:25 ~ 10:40
シンプソンのパラドックスが生じる条件
統計シミュレーションによる検討 | ○堀田 結孝 | 帝京大学 |
| O152 | 10:40 ~ 10:55
「トロッコ問題」における倫理判断と行動意図の乖離
～関係流動性を用いた比較社会的検討～ | ○山本 翔子
結城 雅樹
Robert THOMSON | 北海道大学
北海道大学
北海道大学 |
| O153 | 10:55 ~ 11:10
関係流動性による賞賛行動の抑制と促進 | ○張 鳳芝
山本 翔子
結城 雅樹 | 北海道大学
北海道大学
北海道大学 |
| O154 | 11:10 ~ 11:25
美しさの文化進化：世代間伝達実験を用いた探索的
検討 | ○須山 巨基
片山 沙苗
千坂 優希
中島 彩花
竹澤 正哲 | 北海道大学・日本学術振興会
北海道大学
北海道大学
北海道大学
北海道大学 |
| O155 | 11:25 ~ 11:40
宗教的信念とメンタライジング能力、および自閉症スペ
クトラム傾向の関連 | ○石井 辰典 | 東京成徳大学 |

O16 口頭発表

第2日 (10月29日) 10:25 ~ 11:40

K棟3F K305

感情・動機2

座長 竹橋 洋毅

- | | | | |
|------|---|--|--|
| O161 | 10:25 ~ 10:40
増大的知能観によるストレスの悪影響の緩和効果
通信制高等学校生徒を対象とした検討 | ○竹橋 洋毅
小林 寛子
平部 正樹
藤後 悦子
藤本 昌樹 | 関西福祉科学大学
東京未来大学
東京未来大学
東京未来大学
東京未来大学 |
| O162 | 10:40 ~ 10:55
就職活動における暗黙の才能観の役割
—困難を乗り越える心のメカニズム— | ○大久保 慧悟
竹橋 洋毅 | ディップ(株)
関西福祉科学大学 |
| O163 | 10:55 ~ 11:10
感謝体験者の感情と行動に恩恵の相対的な大きさが及ぼす影響 | ○山本 晶友
樋口 匡貴 | 上智大学
上智大学 |
| O164 | 11:10 ~ 11:25
感謝感情と負債感情が向社会的行動の生起に及ぼす影響の検討
制御焦点理論に基づく状態的動機の観点から | ○吉野 優香
相川 充 | 筑波大学・日本学術振興会
筑波大学 |
| O165 | 11:25 ~ 11:40
中高年期の親子における制御焦点傾向の類似性 | ○田淵 恵
三浦 麻子 | 関西学院大学・日本学術振興会
関西学院大学 |

对人的相互作用

座長 大坪 庸介

- | | | |
|--|--|---|
| <p>O171 14:35 ~ 14:50
Seeking a sense of power or security from personal communities :
Motivational basis of community affiliation</p> | <p>○平島 太郎
五十嵐 祐</p> | <p>愛知淑徳大学
名古屋大学</p> |
| <p>O172 14:50 ~ 15:05
会話場面における予言の自己成就的プロセスの検討
欺瞞性認知に聞き手の態度が及ぼす影響</p> | <p>○品田 瑞穂</p> | <p>東京学芸大学</p> |
| <p>O173 15:05 ~ 15:20
複数の相手にはなぜ情報を共有しにくいのか
—低実体性が情報共有意欲に及ぼす効果の検討—</p> | <p>○梁 庭昌
林 釗
相馬 敏彦</p> | <p>広島大学
広島大学
広島大学</p> |
| <p>O174 15:20 ~ 15:35
友人の価値は効用計算で決まるのか?
コミットメント・シグナルへの応答性に関するfMRI実験</p> | <p>○大坪 庸介
松永 昌宏
日道 俊之
鈴木 孝太
柴田 英治
堀 礼子
梅村 朋弘
大坪 英樹</p> | <p>神戸大学
愛知医科大学
高知工科大学
愛知医科大学
愛知医科大学
愛知医科大学
愛知医科大学
名古屋大学</p> |

O18 口頭発表

第2日 (10月29日)

14:35 ~ 15:35

K棟3F K313

対人的コミュニケーション

座長 谷田 林士

- | | | | |
|------|--|--|--|
| O181 | 14:35 ~ 14:50
ソシオセクシャリティと街中での話しかけに対するリスク認知 | ○仲嶺 真 | 筑波大学・日本学術振興会 |
| O182 | 14:50 ~ 15:05
逆位相のシンクロニーは一体感と独自性を知覚させる | ○藤原 健 | 大阪経済大学 |
| O183 | 15:05 ~ 15:20
強い紐帯の維持・強化のために携帯通話が行われるのか
東日本大震災を題材とした実験 | ○鈴木 貴久
小林 哲郎
田中 優子
脇本 竜太郎
鈴木 努 | 津田塾大学
香港城市大学
名古屋工業大学
明治大学
東北学院大学 |
| O184 | 15:20 ~ 15:35
コミュニケーション能力に資する共感性向上トレーニング
—表情模倣を促進する可視化システムの開発— | ○谷田 林士
内田 萌
三村 安純 | 大正大学
(株)ムトウ |

文化2

座長 吉澤 寛之

- | | |
|---|--|
| <p>O191 14:35 ~ 14:50
 社会化エージェントの多層的影響に関する研究 (26)
 —Mover-stayer潜在移行分析によるエージェント資源と
 反社会性の関連の検討—</p> | <p>○吉澤 寛之 岐阜大学
 吉田 琢哉 岐阜聖徳学園大学
 原田 知佳 名城大学
 浅野 良輔 久留米大学
 玉井 颯一 名古屋大学・日本学術振興会
 吉田 俊和 岐阜聖徳学園大学</p> |
| <p>O192 14:50 ~ 15:05
 省略三段論法についての比較文化研究</p> | <p>○山 祐嗣 大阪市立大学
 Kyung Soo Do Sungkyunkwan University
 Niall Galbraith University of Wolverhampton
 Norhayati Zakaria University of Wollongong in Dubai
 Veronique Salvano-Pardieu University of Tours
 Minli Chiu Holding Self Counselling Center</p> |
| <p>O193 15:05 ~ 15:20
 異文化での定住に向けて：その実態と関与因
 —EPA介護福祉士候補者として来日したインドネシア人の
 場合—</p> | <p>○箕浦 康子 お茶の水女子大学
 浅井 亜紀子 桜美林大学</p> |
| <p>O194 15:20 ~ 15:35
 異文化体験と帰国後のキャリア
 —元EPA介護福祉士候補者として来日したインドネシ
 ア人の場合—</p> | <p>○浅井 亜紀子 桜美林大学
 箕浦 康子 お茶の水女子大学</p> |

O20 口頭発表

第2日 (10月29日) 14:35 ~ 15:35

K棟3F K305

消費

座長 池内 裕美

- | | | | |
|------|--|-----------------|--------------------|
| O201 | 14:35 ~ 14:50
コト消費の期待を生み出す神経基盤 | ○柳澤 邦昭
阿部 修士 | 京都大学
京都大学 |
| O202 | 14:50 ~ 15:05
文脈情報と価値判断：利得，損失が徐々に変化した場合の検討 | ○野田 理世
田邊 宏樹 | 金城学院大学
名古屋大学 |
| O203 | 15:05 ~ 15:20
割引食品に対する衝動性と生活史および健康度の関係 | ○豊沢 純子
竹橋 洋毅 | 大阪教育大学
関西福祉科学大学 |
| O204 | 15:20 ~ 15:35
人はモノに感情移入できるか
—擬人化商品への感情移入に関する探索的検討— | ○池内 裕美 | 関西大学 |